

▶お知らせ 2021年卒向け「会社説明会」を開催します

1月29日(水)

週刊東洋経済プラス | 四季報オンライ

[トップ](#) [ビジネス](#) [政治・経済](#) [マーケット](#) [キャリア・教育](#) [ライフ](#)

自重

[政治・経済](#) ▶ [精神医療を問う](#)

# 精神病院に4年閉じ込められた彼女の壮絶体験

## 「入院は社会的制裁、市役所も児相も同意」

[次ページ »](#)

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 / 井艸 恵美：東洋経済 記者

2020/01/28 5:30

[シェア](#) 1985[ツイート](#)[一覧](#)

209

[コメント](#)

59

[印刷](#)[A](#)[A](#)

4年間入院していた多摩病院の前に立つ米田恵子さん。奥の建物の4階の閉鎖病棟でほとんどの時を過ごした。この日のように雪の日もあったが、窓から眺めることしかできなかったという（撮影：梅谷 秀司）

精神疾患により医療機関にかかっている患者数は日本中で400万人を超えている。そして精神病床への入院患者数は約28万人、精神病床は約34万床あり、世界の5分の1を占めるとされる（数字は2017年時点）。人口当たりで見ても世界でダントツに多いことを背景として、現場では長期入院や身体拘束など人権上の問題が山積している。本連載では日本の精神医療の抱える現実をレポートしていく。

まずは精神科病院の「深い闇」に分け入っていきたい。

## 「2度とここから出られないと…」

世間では正月休みが明けたばかりの、1月6日午前10時。米田恵子さん（42歳）は東京都八王子市にある精神科病院「多摩病院」（持田政彦院長）から退院した。2016年2月の入院から、すでに4年近くの歳月が流れていた。

「まだ夢を見ているような感じで、日常のささいなことがすごく幸せです」

退院から10日ほどたった1月半ば。取材に応じた米田さんは、そう笑顔で話した。病院では週に1度しか食べられなかった好物の麺類を好きなときに食べたり、少し夜更かしをしてテレビを見たりすることに、幸せを覚える日々だという。「何よりいちばんの幸せは、家族や友人と自由に連絡が取れることです」。



この連載は今回が初回です

「逆に今のほうが本当は夢で、目が覚めたらやっぱり現実には閉鎖病棟内のままだった、と想像すると、怖くなって泣き出しそうになります。入院しているときは外で生活しているイメージがまったくできなくて、声を上げても誰も助けてくれず、2度とここから出られないと思ったこともありましたから」

米田さんはそう振り返ったあと、語気を強める。

「この4年間、家族とは面会はおろか、声を聞くことすらかないませんでした。入院当時、中学1年生だった次男は今では高校生。すっかり声変わりしていて成長がうれしい半面、一緒にいられなかった悲しみもあります。人生の貴重な時間を奪った病院のことは、決して許せません」

30代から40代にかけての、この4年間。米田さんが長期入院を余儀なくされた背景にはいったい何があったのか。

→ 次ページ 次々と子どもを奪われたショックで

1 2 3 4 5 >

コメント (59)

#### 関連記事



**散々虐待された三女が祖母と母に下した復讐**

9割の悪事を「教養がない凡人」が起こすワケ

富士の樹海に伝わる「5つの都市伝説」の真実



**「精神病床数」が世界一レベルに多い日本の異様**

医師の適性は「スネ夫をどう思うか」でわかる

21歳弟を姉が殺す悲劇生んだ異様な家族事情

#### トピックボード

AD



**出張費の村に1社」の謎**

有力企業のトップが語るわが社



**「現役大学! 選びの意外**

表計算ソフトを見比べてもヒラメ















▶お知らせ 2021年卒向け「会社説明会」を開催します

1月29日（水）

週刊東洋経済プラス | 四季報オンライ

[トップ](#) [ビジネス](#) [政治・経済](#) [マーケット](#) [キャリア・教育](#) [ライフ](#)

自重

[政治・経済](#) ▶ [精神医療を問う](#)

# 精神病院に4年閉じ込められた彼女の壮絶体験

「入院は社会的制裁、市役所も児相も同意」

◀ 前ページ

風間 直樹：東洋経済 調査報道部長 / 井艸 恵美：東洋経済 記者

2020/01/28 5:30

シェア 1985

ツイート

一覧

209

コメント

59

印刷

A

A

昨年7月、弊社宛に届いた最初の手紙。米田さんにとって手紙は閉鎖病棟内で唯一の、外部との通信手段だった（記者撮影）

「米田さんは自分から声をあげることができたからよかったが、精神科に入院している場合、まず弁護士につながる事が非常に難しい。今回弁護士が介入しても、病院側は『社会に迷惑をかける』などと極めて抽象的で法的に根拠のない理由を繰り返し、なかなか話が進まなかった。医師は『まだ不安定だ』などとも言うが、4年近く閉鎖病棟にいればむしろ不安定にならないほうがおかしい」。佐々木弁護士とともに米田さんを支援した佐藤暁子弁護士も、病院側とのやりとりをそう振り返る。

長年、精神障害者の支援活動を行ってきた佐々木弁護士は、「なぜ彼女をこれほど長期に入院させたのか。その理由がわからないという点では、これまで携わった中でも最もひどいケース。ただひどいケースではあるが、同時にごまんとあるケースでもある」と話す。米田さんも「4年間の入院生活でさまざまな患者と会ったが、なぜ入院させられているのかわからない人も少なくなかった」という。

薬物治療も特別な治療プログラムもない中での長期入院、そして「社会的制裁だ」などという主治医の発言、家族との面会も不許可など厳しい行動制限の理由と真意について、多摩病院に取材を申し込んだところ、持田政彦院長名で下記のような書面回答が届いた。

## 病院も市役所も児相も取材拒否

「弊院に入院されていた患者様の件について取材のご依頼を頂きました。しかしながら、弊院では取材はお受けしておりませんので対応できかねます。ご諒解下さいますようお願い致します。」

八王子市役所と八王子児童相談所は、「特定の個人に関する情報は、第三者の方にはお答えできないことになっています」などと回答した。

今回は米田さんを4年にわたり社会から隔離した「元凶」ともいえる、精神科特有の入院制度、「医療保護入院」の問題点について検討していく。

(第2回に続く)

本連載「精神医療を問う」では、精神医療に関する情報提供をお待ちしております。お心当たりのある方は、[こちらのフォーム](#)よりご記入をお願いいたします（詳細は個別に取材させていただきます）。

← 1 2 3 4 5

コメント (59)

### 関連記事

散々虐待された三女が祖母と母に下した復讐

「精神病床数」が世界レベルに多い日本の異様

9割の悪事を「教養がない凡人」が起こすワケ

医師の適性は「スネ夫をどう思うか」でわかる

富士の樹海に伝わる「5つの都市伝説」の真実

21歳弟を姉が殺す悲劇生んだ異様な家族事情

### トピックボード

AD



公平性だけ詰まる背景



企業が続々「県」がすごい

将来予測ができる決算書シミュレ

受験期間中に伸びる子とそうで